

レジメン名称:フルオロウラシル(d1-5)+シスプラチン(d1)+キイトルーダ(d1) q3w 食道癌

ID 患者氏名 様 (性別)

身長 cm 体重 kg 年齢 歳 体表面積 m²

薬剤	投与量	投与日	1 コース 3 週間															
		Day 1	2	3	4	5	・	8	・	・	・	・	・	15	・	・	・	22
キイトルーダ	200 mg/body	↓																
シスプラチン	80 mg/m ²	↓																1～6 コース目まで
フルオロウラシル	800 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓	↓											5 日間持続投与

レジメンオーダー以外に必要な処方

1～6 コース目のみ Day1～：アプレピタントセット 1 シート、1×朝食後、1 日目はレジメン通りに

1～6 コース目、7 コース目～ Day2-5：内服 デカドロン 8mg 1×朝食後 4 日分

注意事項 1～6 コース目の初日のフルオロウラシル投与時は同時に輸液負荷投与あり。シスプラチン：尿測指示を確認して下さい。

キイトルーダのルートにはフィルター付き輸液セットを使用

キイトルーダ：インフュージョンリアクション（気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど）に注意。

初回および 8 週以上あいた時：心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり（詳細は投与方法の項を参照）

特に注意する副作用

間質性肺炎患、大腸炎、小腸炎、重度の下痢、中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑、類天疱瘡、神経障害、劇症肝炎、肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎、甲状腺機能障害、下垂体機能障害、副腎機能障害

1 型糖尿病、腎障害、膵炎、筋炎、横紋筋融解症、重症筋無力症、心筋炎、脳炎、髄膜炎、脊髄炎、重篤な血液障害、重度の胃炎、ぶどう膜炎、血球貪食症候群、結核、インフュージョンリアクション

投与方法（1～6 コース目まで）：0 日目（前負荷 0 日目、抗がん剤点滴投与日を 1 日目として記載）		
1	14:00	ケモセーフロックのフィルター付き点滴セットを使用 ソルデム 1 500mL 3 時間かけて点滴、メインルートから投与 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	17:00	ソルデム 3A 500mL 3 時間かけて点滴、メインルートから投与
3	20:00	ソルデム 1 500mL 4 時間かけて点滴、メインルートから投与

投与方法（1～6 コース目まで）：1 日目		
1	0:00	生食 500mL 10 時間かけて点滴、メインルートから投与
2	10:00	キイトルーダ 200 mg, 生食 50 mL ※フィルターを通すこと 30 分かけて点滴、メインルートから投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
3	10:30	生食 100 mL 30 分かけて点滴、メインルートから投与、ウォッシュアウト
4	11:00	フィジオ 140 500mL、硫酸 Mg 補正液 7 mL 60 分かけて点滴、メインルートから投与

5	12:00	生食 500mL 60 分かけて点滴、メインルートから投与 次のグラニセトロンはこの生食開始 30 分後に開始	※アプレピタント内服
6	12:30		グラニセトロン(3mg/100mL)1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 3A 30 分かけて点滴、 下の側管から 5 の生食開始 30 分後に開始 (生食とグラニセトロンは同時投与)
7	13:00	※終わったらメインルートを止める	マンニトール S 300mL 1V ※フィルターは通さないこと 30 分かけて点滴、下の側管から投与
8	13:30	シスプラチン mg、生食、全量 500 mL	120 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与
9	15:30	フルオロウラシル mg, 生食 500 mL 24 時間かけて点滴 ソルデム 1 と同時に開始 ケモセーフロックのルートより投与	ソルデム 1 500mL フルオロウラシルと同時に開始 4 時間 30 分 かけて点滴、下の側管から投与
10	20:00		ソルデム 3A 500mL フルオロウラシルと同時投与 4 時間かけて点滴、下の側管から投与

投与方法（1～6 コース目まで）：2 日目			
1	0:00		ソルデム 1 500mL フルオロウラシルと同時投与 6 時間かけて点滴、下の側管から投与
2	6:00		ソルデム 3A 500mL フルオロウラシルと同時投与 4 時間かけて点滴、下の側管から投与 ※終わったらルートを止める
	10:00		
3	15:30	フルオロウラシル mg, 生食 500 mL 24 時間かけてケモセーフロックのルートより	

投与方法（1～6 コース目まで）：3～5 日目			
1	15:30	フルオロウラシル mg, 生食 500 mL 24 時間かけてケモセーフロックのルートより	

投与方法（1～6 コース目まで）：6 日目			
1	終了時	生食 20mL ルートウォッシュアウト、ゆっくり 下の側管から	

投与方法（7 コース目～）：1 日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの フィルター付き 点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	キイトルーダ 200 mg , 生食 50 mL ※フィルターを通すこと 30 分かけて点滴、メインルートから投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
3	生食 50 mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 15 分間、残破棄可
4	デキササート(3.3mg/1.0mL) 2A、生食 100mL 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
5	フルオロウラシル mg, 生食 500 mL 24 時間かけて点滴 ケモセーフロックのルートより投与

投与方法（7 コース目～）：2－5 日目	
1	フルオロウラシル mg, 生食 500 mL 24 時間かけてケモセーフロックのルートより

投与方法（7 コース目～）：6 日目	
1	終了時 生食 20mL ルートウォッシュアウト、ゆっくり 下の側管から

出水総合医療センター レジメン管理委員会